

フォーラム「芝生から広がる地域づくり」

～緑あふれる10年後の東京へ向けて～

平成19年10月20日(土)

練馬区立中村小学校

14:00 第一部開会 < 体育館 >

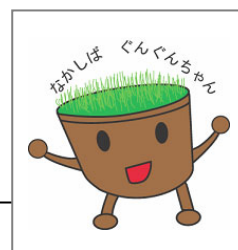
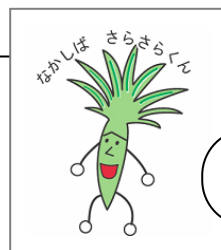
- ・主催者挨拶 松田二郎(東京都教育庁次長)
- ・講演「私とサッカー」相馬直樹さん(サッカー解説者、元日本代表サッカー選手)
- ・事例発表「中村小学校グリーンキーパーズ」
内田常幸さん(中村小学校グリーンキーパーズ副代表)
- ・パネルディスカッション
「子供たちの教育環境を社会全体で豊かにするためには
～校庭の芝生化を通じた学校と地域の協働を目指して～」
パネリスト 中島修一さん(練馬区立中村小学校長)
桜木則子さん(「中村小学校グリーンキーパーズ」)
櫻井茂さん(中野区立武蔵台小学校長)
長倉亮一さん(「芝生応援団グラス・ルーター」代表)
コーディネーター 井上尚子さん(NPO スクール・アドバイス・ネットワーク副理事長)
- ・東京芝生応援団結成の呼びかけ

16:00 第二部 < 校庭、体育館 >

- ・展示ブース 体育館後方、校庭テント
< 東京都環境局の施策紹介、実施校紹介、協力団体展示、機具等展示、芝生相談コーナー >
- ・体験コーナー 校庭
< Gボール、芝刈り等の芝生維持管理作業 >

16:30 フォーラム終了

開会までは、体育館や校庭の展示ブースをご覧ください。
校庭で開催している「FC東京による中村スポーツ少年団へのサッカー教室」の見学もできます。
テレビ・ラジオ等の取材が入ります。ご了承ください。



中村小の児童が作った
「芝生キャラクター」です



主催 東京都教育委員会 / 東京都 / 地域教育推進ネットワーク東京都協議会
協力 練馬区教育委員会 / 練馬区立中村小学校

登壇者のご紹介

◆講演「私とサッカー」 相馬直樹さん サッカー解説者、元日本代表サッカー選手



静岡県清水市（現静岡市）出身。静岡県立清水東高等学校、早稲田大学を経て1994年にJリーグの鹿島アントラーズに入団。不動の左サイドバックとして活躍し、98年のフランスワールドカップに日本代表として出場。その後、ヴェルディ東京、鹿島アントラーズ、川崎フロンターレなどでも活躍し、Jリーグ通算289試合に出場、日本代表選手としても59試合（歴代18位）に出場する。日本代表時代は積極的なオーバーラップを武器に不動のサイドバックとして活躍する。

現在、日本サッカー協会の「アンバサダー」としてサッカーの普及推進に取組むほか、TBSテレビのサッカー解説者のほか、コラムの連載など多岐にわたって活躍している。

●「海外に行くと青々とした芝生のピッチが何面もあって、いつもうらやましく思っていました。」

◆事例発表「中村小学校グリーンキーパーズ」 内田常幸さん 中村小学校グリーンキーパーズ副代表

現在、中村小学校グリーンキーパーズの副代表であるとともに、中村小学校のPTA会長を務めている。学校と地域が協力して、芝生校庭の特色を生かせるように維持・管理をし、子供たちが自然や緑、生き物を大切にできる心が育まれると良いと思う。また、校庭の芝生をきっかけに「まちのコミュニティ」づくりや地域の活性化につながれば考える。

◆パネルディスカッション「子供たちの教育環境を社会全体で豊かにするためには ～校庭の芝生化を通じた学校と地域の協働を目指して～」

中島修一さん 練馬区立中村小学校長

昭和57年に練馬区の教員となり、校長として、練馬区立練馬第二小学校、同石神井小学校を経て、平成17年度に中村小学校に赴任。中村小学校に着任するまで、「芝生」に対するイメージは立ち入り禁止の公園の芝生とゴルフ場の芝生しか知らなかった。

赴任1年目は、校庭の芝生化が始まり、3月に芝生の校庭をオープンさせ、2年目は校庭芝生を教育活動に生かす取組みを行う。3年目の今年度は昨年の成果と課題を踏まえた取組を行っている。

桜木則子さん 中村小学校グリーンキーパーズ

中村小学校に2人の子供を通わせている保護者。

PTAの役員を経験しながら、平成17年度の校庭芝生の導入時からグリーンキーパーズの活動に係わっている。

芝生の活動に携わることで、生き物としての「芝生」を育てていることを実感するとともに、この活動から地域の人間関係や学校との良い関係が育っていると感じる。



櫻井茂さん 中野区立武蔵台小学校長

都内の公立小学校教諭から平成2年度より小平市及び板橋区教育委員会、東京都教育庁指導部の指導主事を経て、平成13年4月より教職員研修センター統括指導主事、14年1月より清瀬市教育委員会指導室長を経験。平成17年度から現任校に勤める。専門は理科教育。指導主事時代には環境教育なども担当した。これらが、子どもと自然や校庭の芝生化を考える一因にもなっている。教育には、何より環境が大切であると主張する。

長倉亮一さん 芝生応援団グラス・ルーター代表

1955年生れ。2001年にJリーグサポーター有志により結成された「芝生応援団グラス・ルーター」の立ち上げに参加。校庭とスポーツ広場の芝生化と維持を目的とした活動を行っている。現在、芝生応援団グラス・ルーター代表幹事、日本芝草学会校庭芝生部会幹事を担う。著書に「校庭芝生化のすすめ」（共同執筆）日本地域社会研究所発行。

コーディネーター 井上尚子さん 特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワーク副理事長

杉並区学校教育コーディネーター、「キッズISO14000プログラム」エコキッズインストラクター指導員。小学校PTA会長として学校に関わってきた経験を生かし、学校支援活動を積極的に行なっている。また、環境をテーマにした教育プログラムである「キッズISO」のインストラクターとしては、子どもの環境への気づきを引き出すため、ゲストティーチャーとして授業なども行っている。

◆東京芝生応援団結成の呼びかけ

紹介：東京都環境局

- ・根本敦史さん 財団法人日本サッカー協会 キャプテン・ヘッドクォーターズ
- ・西本敏雄さん 社団法人ゴルファーの緑化促進協力会 常務理事
- ・藤崎健一郎さん 日本芝草学会 校庭芝生部会長

校庭芝生には、いろいろな課題があり、学校では芝生を育てていくための様々な支援を求めています。また、東京都の校庭芝生に賛同し、学校・地域への協力を考えている企業や団体もあります。その両者の思いをマッチングさせ、必要などころに対し、的確に支援が行われるよう、東京芝生応援団の結成に向け、呼びかけを行ないます。本日は、結成に向けた第一段階として、支援団体を代表して3つの団体から応援メッセージなどをいただきます。

◆体験コーナー

- ・Gボール 指導：中村小学校
- ・芝生維持管理作業 指導：中村小グリーンキーパーズ、アゴラ造園株式会社

協力団体紹介

- NPOグラウンドキーパーズ <http://blog.goo.ne.jp/taroeri>
- NPO法人21世紀校庭緑化研究会 <http://www.koutei.jp/>
- 財団法人都市緑化技術開発機構グランドカバー共同研究会 <http://groundcover.green tech.or.jp/>
- 芝生応援団グラス・ルーター
- 社団法人ゴルファーの緑化促進協力会 <http://www.ggg.or.jp/>
- 社団法人日本造園建設業協会（東京都支部）<http://www.jalc.or.jp/>
- 社団法人日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）<http://www.j-league.or.jp/>
- 社団法人ランドスケープコンサルタンツ協会 <http://www.cla.or.jp/>
- 東京フットボールクラブ株式会社（FC東京）<http://www.fctokyo.co.jp/>
- 特定非営利活動法人日本芝草研究開発機構 <http://www.shibakusa-rd.or.jp/>
- 中村小学校グリーンキーパーズ <http://www.shibafu.jp/ngk/index.htm>
- 日本芝草学会 <http://www.tctv.ne.jp/members/jsts/>（団体名50音順）

地域教育推進ネットワーク東京都協議会（事務局：東京都教育庁生涯学習部）

<http://www.syougai.metro.tokyo.jp/sesaku/schooling.html>

地域教育推進ネットワーク東京都協議会は、子供たちの教育活動に企業、NPO、大学等の専門的な教育力を効果的に導入するためのネットワークづくりをめざした組織で、教育環境整備部会ほか、4つの部会を設置し、教育支援の取り組みを行なっています。

協議会の活動として、「教育環境整備部会」に校庭の芝生化検討委員会を設置し、今回のフォーラムの企画等を行なっています。協議会ホームページに「学校の芝生」コーナーを設置し、今回展示ブースでご紹介した校庭芝生化を行っている小学校のパネルを掲載する予定です。

芝生キーワード

環境局 HP

<http://www2.kankyo.metro.tokyo.jp/heat/kouteisibahu/index.htm>

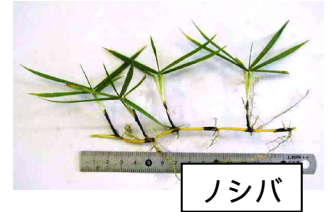
夏芝・冬芝(体育館に写真つきパネルがあります。)

夏芝:暖地型芝草、生育適温 25~35℃、栄養繁殖が多い、管理が比較的容易

ノシバ、コウライシバ、バミューダグラス、ハイブリッドバミューダ(ティフトン 419)

冬芝:寒地型芝草、生育適温 15~25℃、種子で繁殖、播種による補修が容易

トールフェスク、ペレニアルライグラス、ケンタッキーブルーグラス



ノシバ

管理

芝刈り 一番重要な作業です。生長時期には週 1 回程度行います。年間の刈り込み回数の目安は 20~30 回です。

散水 生長期には 1~3 日ごとに散水するのが目安です。発芽時期は乾燥に弱いので 1 日に 2~3 回まきます。

肥料散布

生長時期には月 1 回程度行います。手押しブロードキャスター
まきます。



が 1 台あれば十分に施肥で

更新作業



踏み固められた土をほぐしたり、たまったかすを取り除いたりして芝の生育をよくします。専門家に委託するのが標準的です。

左:エアレーション:土に穴をあけ、空気の通りをよくしています。

右:バーチカルカット:地表に切れ目を入れ、古い根を切り、新しい根がでるのを促進させます。



播種

播種は冬芝を育てるため、一般的には秋に、芝の状況に合わせて使用品種や播種量の選定を行い専門家が作業します。芝草の擦り切れが激しい場合には春に行うこともあります。

目土(めつち)

芝生が部分的に削れて窪みができ場合はスコップとバケツで砂を入れます。(手目土)冬芝の生育期には手目土に種子を混ぜておく効果的です。また年 2 回程度、代替わりして枯れた芝の葉や根が分解するのを助け、土壌を水はけの良い状態に保つために全面目土を行います。



東京都の校庭芝生化

平成 17 年度 公立学校の校庭芝生化等 モデル実施

公立小中学校 27 校、都立学校 6 校で校庭芝生化

平成 18 年 12 月「10 年後の東京」策定

設定された 8 つの大きな目標のうち、3 つの大きな目標に係わる事業として都内の公立小中学校等の校庭を芝生化し、約 300ha の緑を生み出す。

平成 19 年「緑の東京 10 年プロジェクト」

全庁横断型の戦略的組織である「緑の都市づくり推進本部」を設置(1 月)。今後の「緑施策」の基本的な考え方、方向性などを示した「緑の東京 10 年プロジェクト」基本方針(4 項目)を策定(6 月)



方針3:校庭芝生化を核とした地域における緑の拠点づくり

芝生維持管理のまとめ役としての「芝生リーダー」の育成、「東京芝生応援団」の結成
学校関係者・芝生の専門家等による校庭芝生化促進協議会の設置・活用
幼稚園・保育所・私立学校等への展開